

なんで 封筒を加工するの？



そのままよくない？



なんか意味ある？



なにが変わるの？



じつは、封筒に加工することでさまざまなメリットがあるんです！
ご紹介いたしますので、ぜひ、参考にされてくださいね。

ジッパー加工



既製品へのジッパー
特許取得



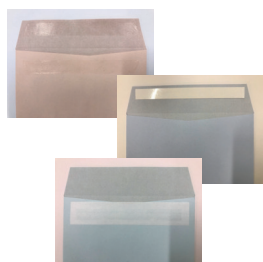
封筒のフタ部分にジッパーの加工を施すことで、ペーパーナイフなど使わなくても簡単に封を切ることができ、封筒を傷つけることもないため、内容物の破損も防ぎます。開封の利便性により、開封率を高めるため、ダイレクトメール（DM）などのマーケティングツールに活用すると効果的です。

そのメリットは何と言っても

高い開封率！！

当社はオーダーメイド・既製品のどちらも対応できます。

口糊加工



封筒のフタ部分に糊付けをすることで、封入封緘の手間を省くことができます。通常、ビジネス文書ではセロハンテープなどで封を閉じるのはマナー違反。水糊を使ってはみ出すと内容物まで張り付いて文書を台無しにする危険性もあります！そんなトラブルを避け、受け取り手に好印象を与えます。

そのメリットは何と言っても

封閉じの手間がない！



アラビア口糊、アドヘア口糊、両面テープ、ホットメルト加工の4種類があります。用途に応じてお選びください。

窓加工



封筒の窓加工は、主に宛名や送り先情報が印刷された文書を封筒に入れたときに、その情報が外から見えるようにするために封筒に型抜きをして、フィルムを貼ります。このように窓を加工することで、封筒に直接宛名を書く手間を省くことができ、郵便物の処理が効率化されます。また、ビジネス文書などでフォーマルな印象を与えるためにも効果的です。



そのメリットは何と言っても

**宛先と内容物の
入れ間違えがない！**

当社はグラシン・セロハン・から窓に対応しています。

ミシン加工



ミシン目加工は、紙に細かい穴を列状に打ち込むことで、指定された部分を簡単に切り離せるようにする技術です。封筒にこの加工を施すことで、受取人が封筒のフラップまたは側面をスムーズに開封できるようになります。開封を促進しやすく、内容物を傷つけることなく安全に文書を取り出せるため、特にダイレクトメール（DM）に多く活用されています。



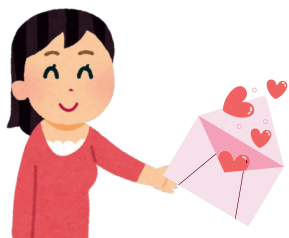
見た目にも整った印象を与え

好感度UP！

爪抜き加工



葉袋などによく見られる爪抜き加工は、封筒にも活用できます。半円形や他の形状の切り込みを入れて指をかけ、軽く引くだけで開封できるようになります。特に、紙のフラップが硬い場合や、開封時に内容物を損傷しないようにする必要がある場合に便利です。



高齢者や手の力の弱い人など

UDに寄与します
ユニバーサルデザイン

いかがでしたでしょうか。

オーダーメイド・既製品、どちらもちよっとしたひと手間を加えることで、受け取り手の開封の手間も軽減されたり、会社のイメージアップにつながります。また差出人にとっても作業の手間が省けて本来の業務に集中できるなど、メリットがたくさんあります。ぜひ、ご検討ください。



福岡製袋工業株式会社

092-541-7055

お気軽にお問合せください
info@ofukuro.co.jp